

個人情報を探るアポ電に注意!

今月、東京都内で、犯人が現金の有無を尋ねる電話をかけた後、警察官を装って被害者の自宅に押し入り現金を奪うという強盗事件が発生しました。このように、犯人が被害者の個人情報等を確認するために事前に電話をかける手口が増加してします。このような事前の電話は、アポイントメント電話(アポ電)と呼ばれ、資産や家族構成等の個人情報が詐欺や強盗事件に利用されてしまうおそれがあります。

手口例

ケース① 特殊詐欺

テレビ局員を名乗る者



「ひとりでお住まいですか？」

「年金はいくらお持ちですか？」

テレビ局員を名乗り、資産や家族構成、在宅情報等の個人情報を聞き出した後、その情報を基に現金をだまし取る手口です。

ケース② 強盗

息子を名乗る者



「病気になったのでお金が必要になった。
家に現金はあるか。」

息子を装って、自宅に現金があるかどうかや保管場所を確認し、狙いを定めて強盗に入る手口です。

アポ電には、他にも、親族、報道機関の世論調査、電力会社、警察官を装う等、様々なパターンがあります。事件の前兆でもあり、注意が必要です。



対策

- 安易に資産や家族構成等の個人情報を他人に教えない。
- 留守番電話等を使って相手を事前に確認する。



不安に感じたら、ご家族やご友人、
警察に相談するようお願いします

